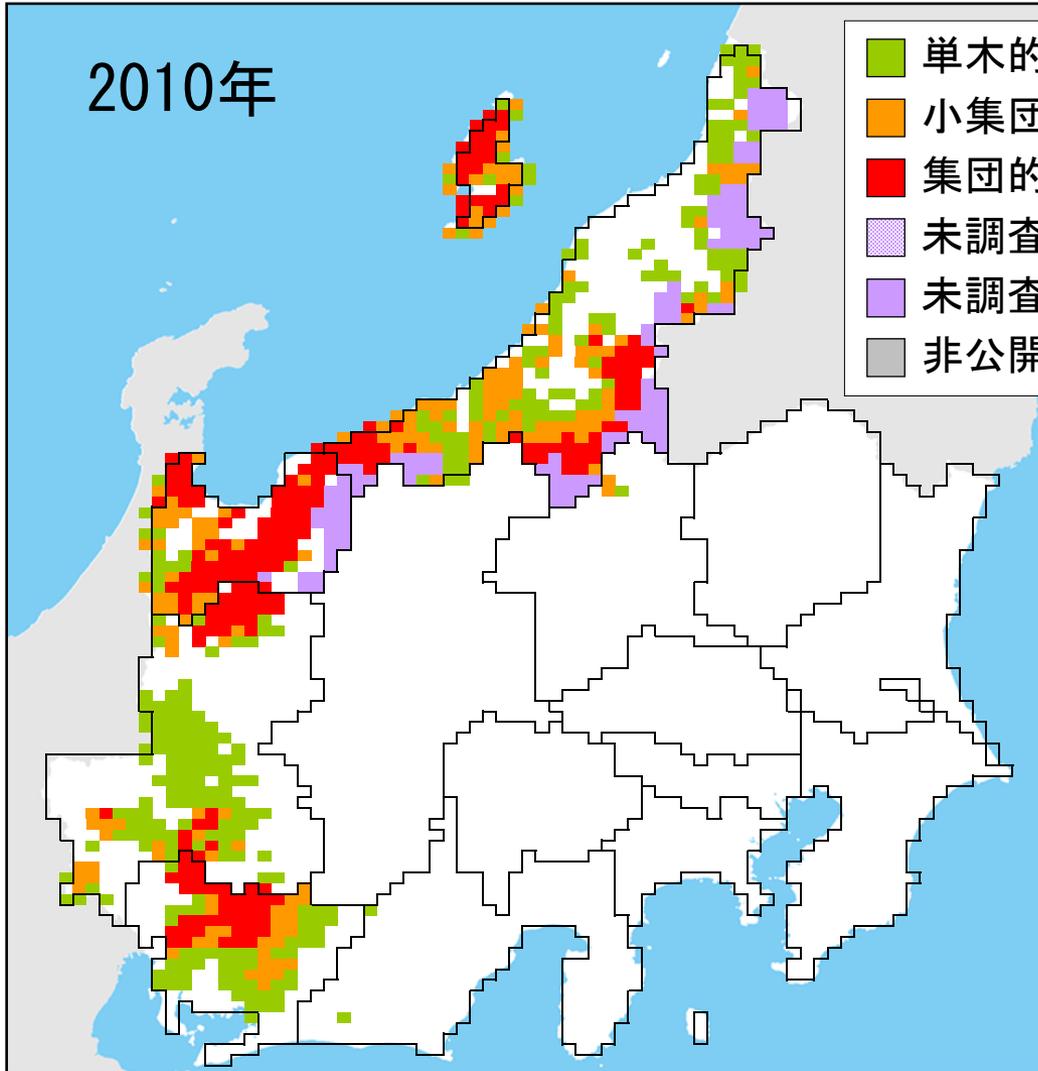


関東・中部地域における ナラ枯れ被害の推移

2010, 2017～2021

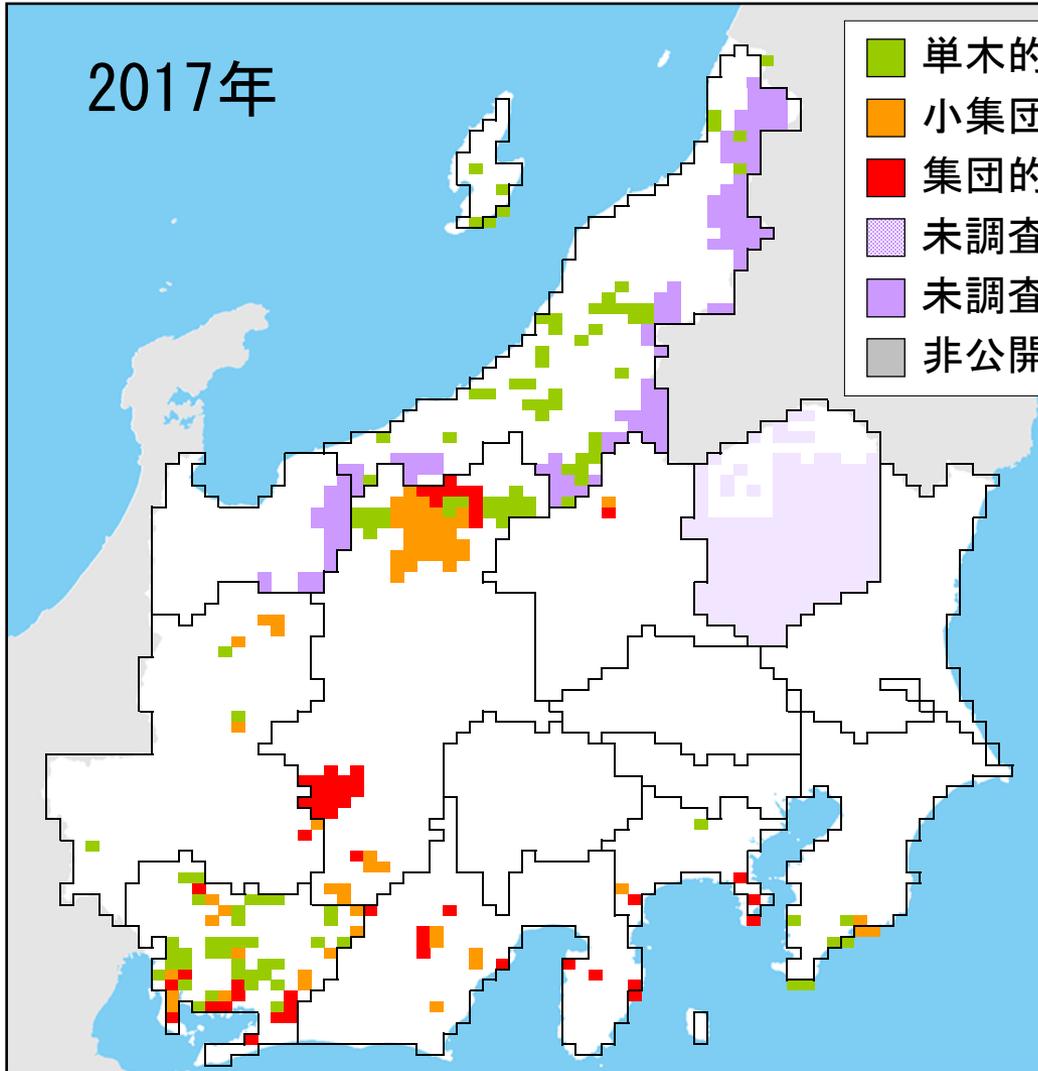
2010年



- 単木的 (枯死木： 5本以下/地点)
- 小集团的 (枯死木： 6~15本/地点)
- 集团的 (枯死木： 16本以上/地点)
- 未調査 (被害発生の情報提供なし)
- 未調査 (被害発生の可能性あり)
- 非公開

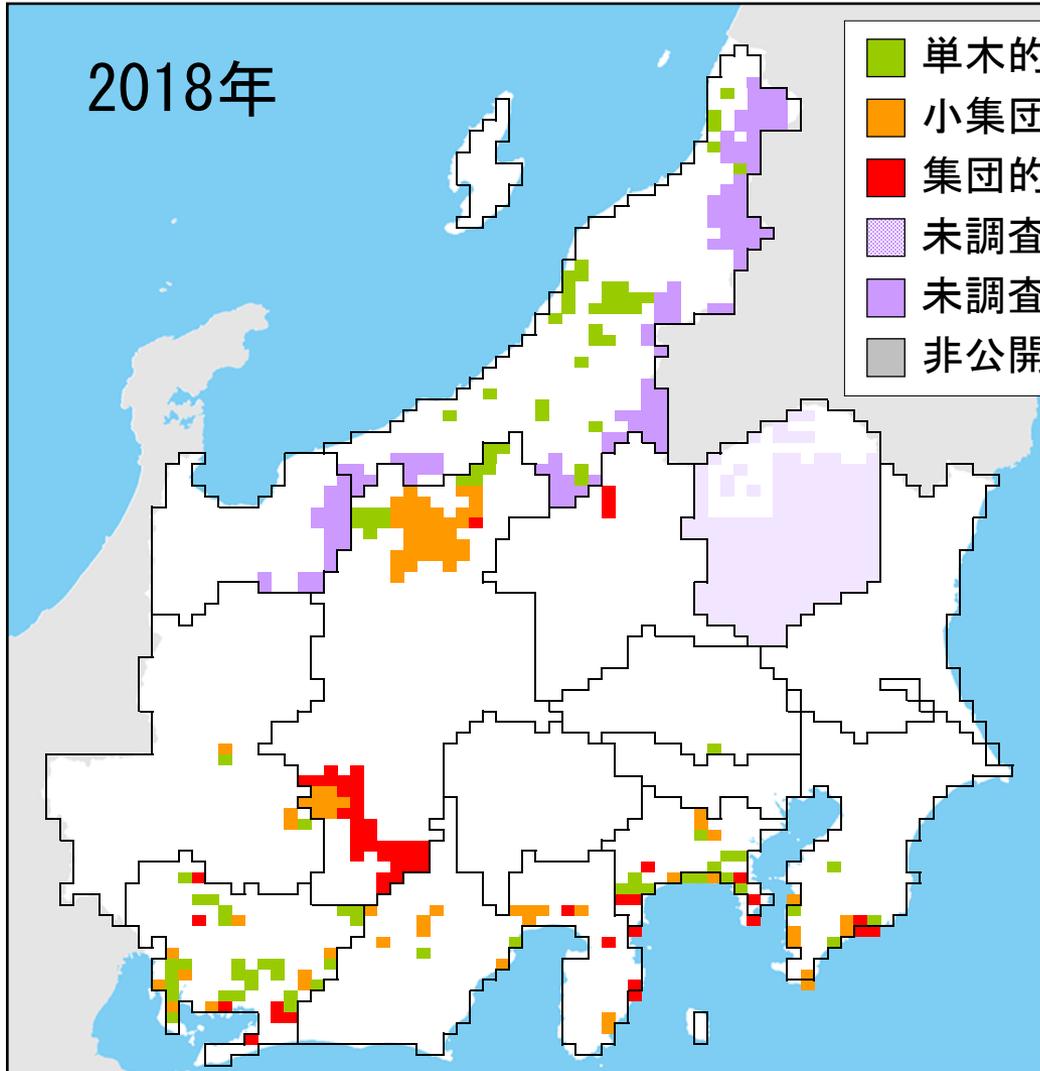
2017年

- 単木的 (枯死木：5本以下/地点)
- 小集团的 (枯死木：6~15本/地点)
- 集团的 (枯死木：16本以上/地点)
- 未調査 (被害発生の情報提供なし)
- 未調査 (被害発生の可能性あり)
- 非公開



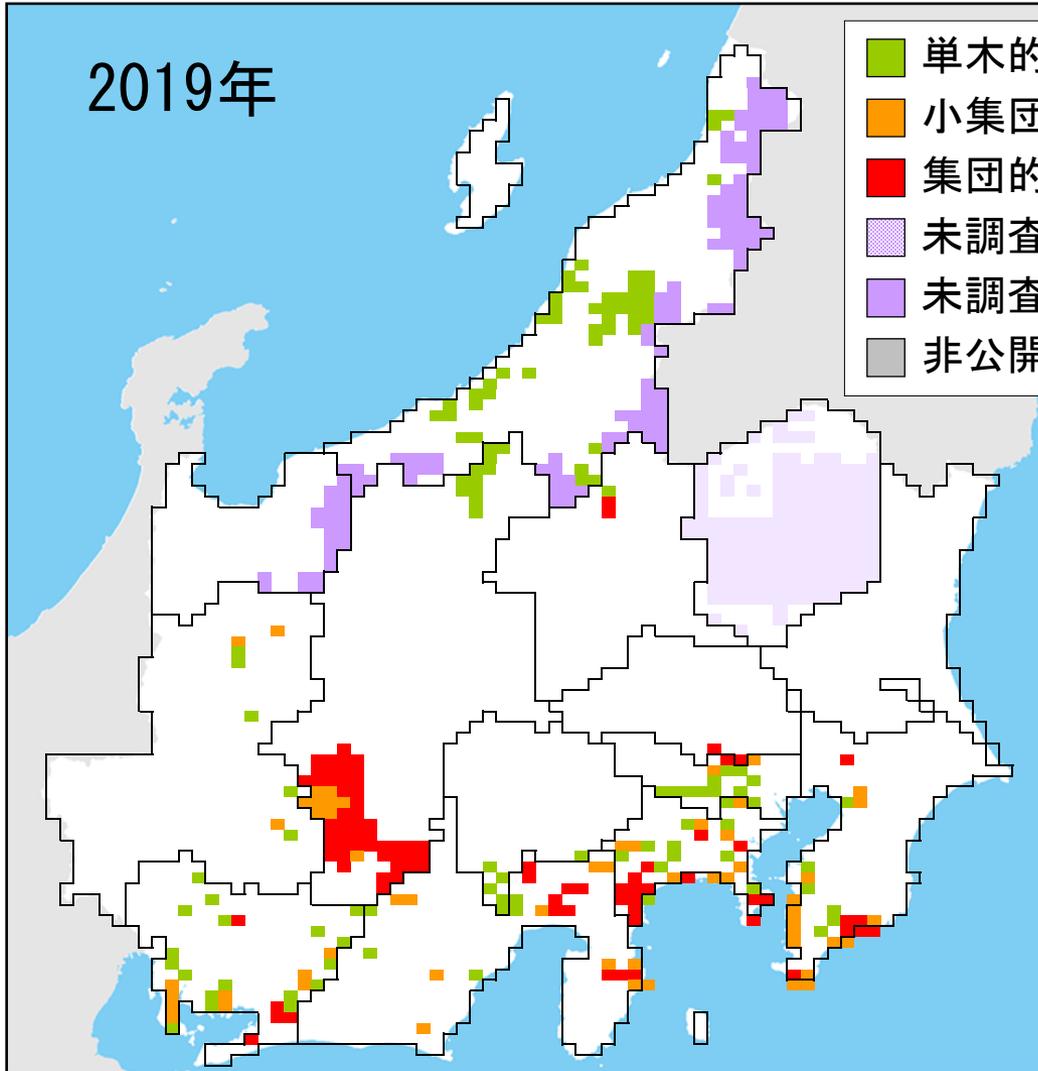
2018年

- 単木的 (枯死木：5本以下/地点)
- 小集团的 (枯死木：6~15本/地点)
- 集团的 (枯死木：16本以上/地点)
- 未調査 (被害発生の情報提供なし)
- 未調査 (被害発生の可能性あり)
- 非公開



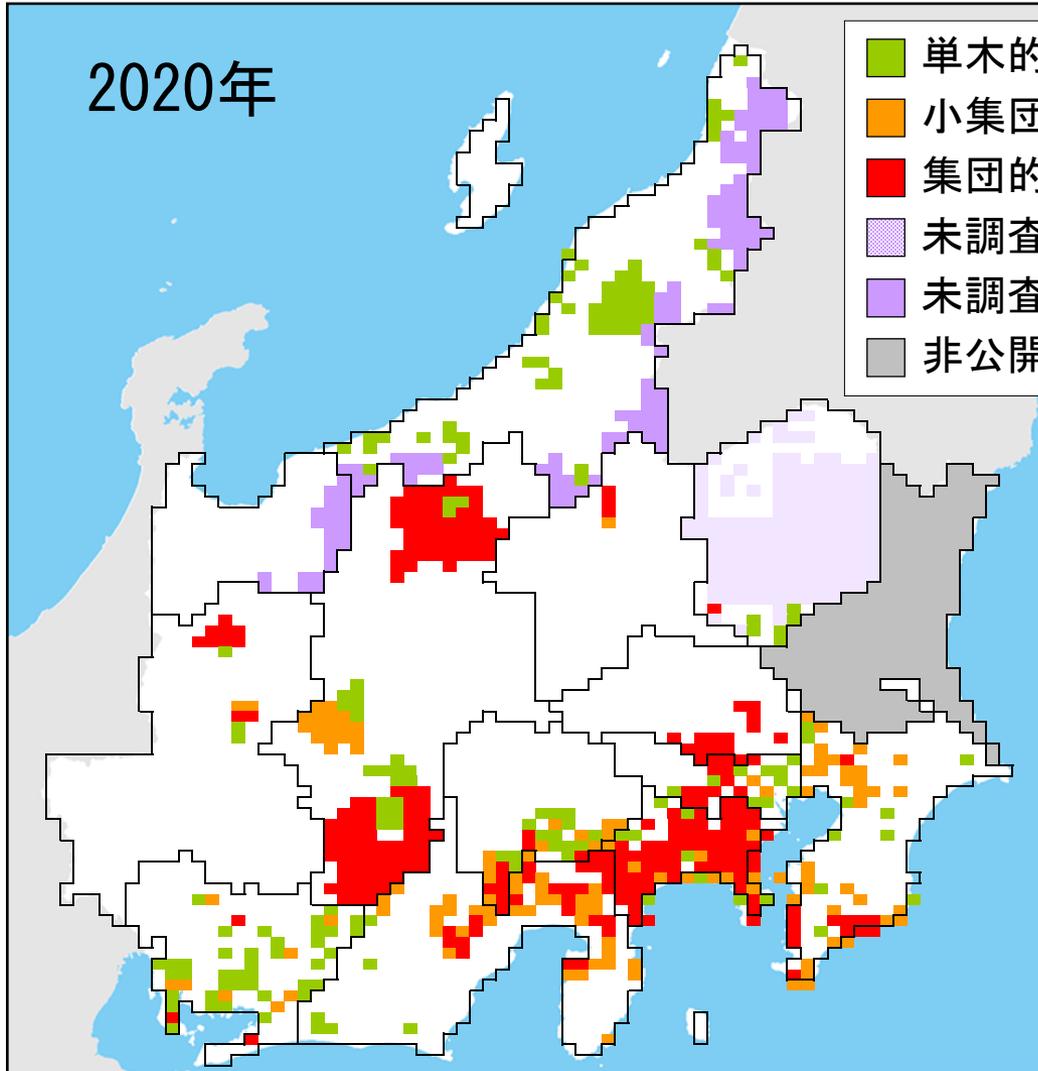
2019年

- 単木的 (枯死木：5本以下/地点)
- 小集团的 (枯死木：6~15本/地点)
- 集团的 (枯死木：16本以上/地点)
- 未調査 (被害発生の情報提供なし)
- 未調査 (被害発生の可能性あり)
- 非公開



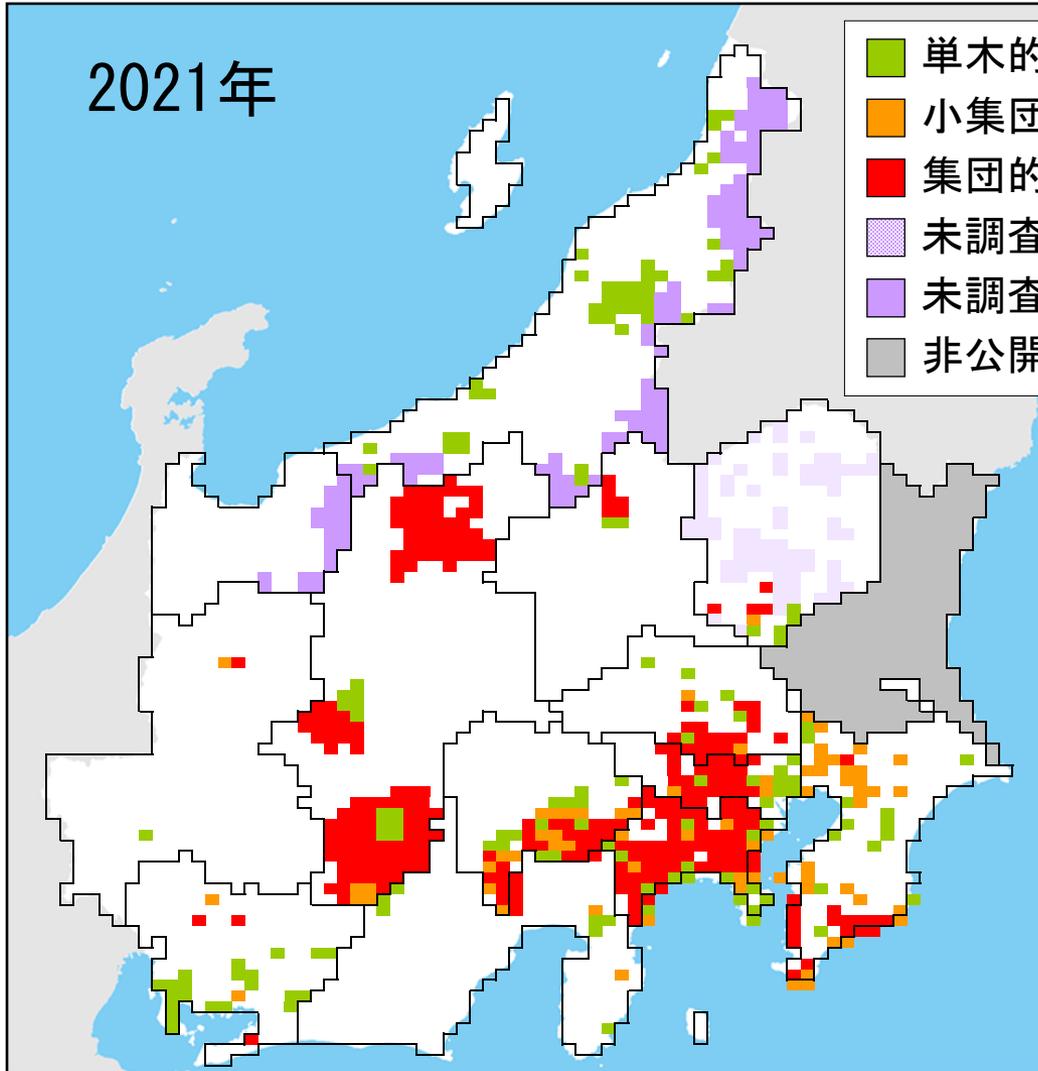
2020年

- 単木的 (枯死木：5本以下/地点)
- 小集团的 (枯死木：6~15本/地点)
- 集团的 (枯死木：16本以上/地点)
- 未調査 (被害発生の情報提供なし)
- 未調査 (被害発生の可能性あり)
- 非公開



2021年

- 単木的 (枯死木：5本以下/地点)
- 小集团的 (枯死木：6~15本/地点)
- 集团的 (枯死木：16本以上/地点)
- 未調査 (被害発生の情報提供なし)
- 未調査 (被害発生の可能性あり)
- 非公開



調査方法

関東・中部地方の1都13県において、2010、2017～2021の年ごとに、目視に基づき確認されたブナ科樹木（ナラ類・カシ類・シイ類）のブナ科樹種萎凋病（通称、ナラ枯れ）による枯損被害を

- ① 単木的（地点ごとの枯死木が5本以下）
- ② 小集団的（同じく6～15本）
- ③ 集団的（同じく16本以上）

に区分しました。

5kmメッシュにおいて、メッシュ内で最も高い枯損をその代表値としました。

この資料は、
松浦ら(2023)関東中部(1都13県)におけるブナ科樹
木萎凋病の2017~2021年の推移. 関東・中部林業試
験研究機関連絡協議会「森林の生物被害の情報共
有と対策技術に関する研究会」研究成果事例集. 1-3.
からの引用で著者は以下になります。

富山県農林水産総合技術センター森林研究所 松浦崇遠
東京都農林総合研究センター 新井一司
茨城県林業技術センター 富田衣里
栃木県林業センター 粕谷嘉信
群馬県林業試験場 山田勝也
埼玉県寄居林業事務所 中村葉子
千葉県農林総合研究センター森林研究所 福原一成
神奈川県自然環境保全センター 谷脇 徹
新潟県森林研究所 岩井淳治
山梨県森林総合研究所 大澤正嗣
長野県林業総合センター 柳澤賢一
岐阜県森林研究所 片桐奈々
静岡県農林技術研究所森林・林業研究センター 内山義政
愛知県森林・林業技術センター 長谷川規隆

参考

1998～2016年の関東・中部地域におけるナラ枯れ被害の推移は、以下。

<https://www.ffpri.affrc.go.jp/kanchu/kenkyuukai/documents/naragare.pdf>

松浦ら(2023)関東中部(1都13県)におけるブナ科樹木萎凋病の2017～2021年の推移. 関東・中部林業試験研究機関連絡協議会「森林の生物被害の情報共有と対策技術に関する研究会」研究成果事例集. 1-3.

は、以下。

https://www.ffpri.affrc.go.jp/kanchu/kenkyuukai/documents/h30-r4_seibutsuhigai.pdf